

0.1 欠測処理モジュール

以下に、モジュールの仕様概要と操作手順を示す。

表.1 モジュールの仕様概要

No	項目	内容
1	DLL 名	McMissingValueTreatment. DLL
2	概要	入力データの欠測値を単相関により算出し、補完する。
3	送受信のパターン	受信 ①降雨量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：SCALOR_RAIN_FALL (mm/h)
		送信 ①降雨量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：SCALOR_RAIN_FALL (mm/h)
4	接続方法	受信 ・要素接続は、1次元時系列で行い、降雨量を入力する。 ・上記以外の接続は、できません。
		送信 ・要素接続は、1次元時系列で行い、降雨量が出力される。 ・上記以外の接続は、できません。
5	基礎式	$Y=ax+b$ Y：補完後の値 x：参照する観測所の雨量(mm) A,b：係数
6	備考	・入力データの時間間隔に合わせる必要がある。
7	サンプルプロジェクト	・欠測処理モジュール. pr jdb

(1) 降雨量パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

カテゴリーが入力要素の地上観測所雨量入力モデルを設定

カテゴリーが演算要素の欠測処理モデルを設定

カテゴリーが出力要素のCSV時系列ファイル出力モデルを設定

項目	内容
名称	地上観測所雨量入力モデル
概要	地上観測所雨量 (Wiseif or csv 形式のファイル) を入力する

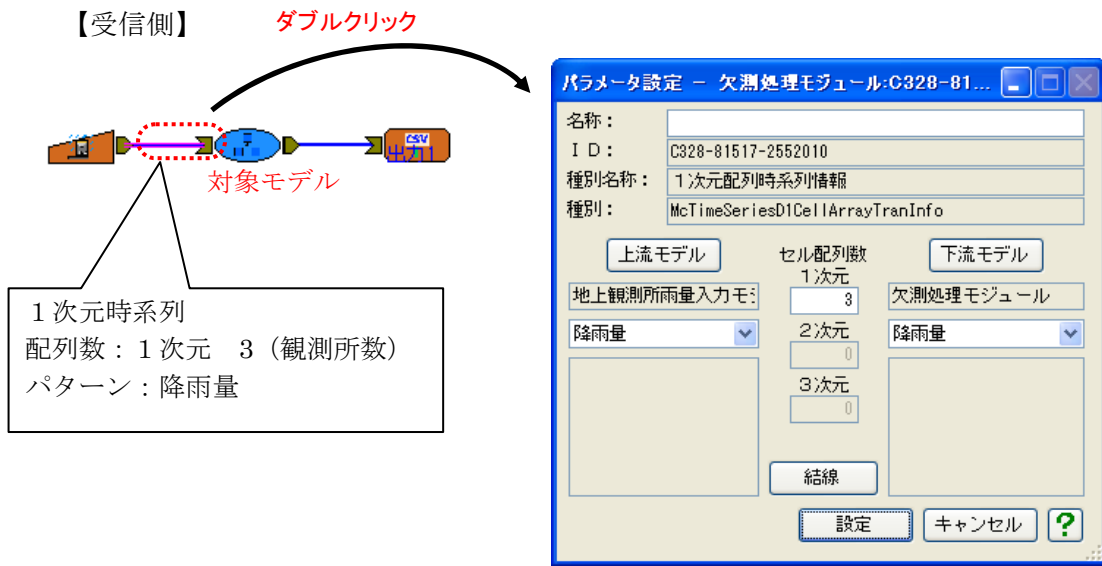
項目	内容
モデル名称	欠測処理モデル
作成者名	CommonMP モデル開発者
バージョン	Ver1.0
概要	入力データの欠測値を単相関により算出し、補完する。

項目	内容
名称	CSV時系列ファイル出力
概要	1次元時系列・2次元時系列・3次元時系列データをCSVファイルとして出力する。

対象モデル

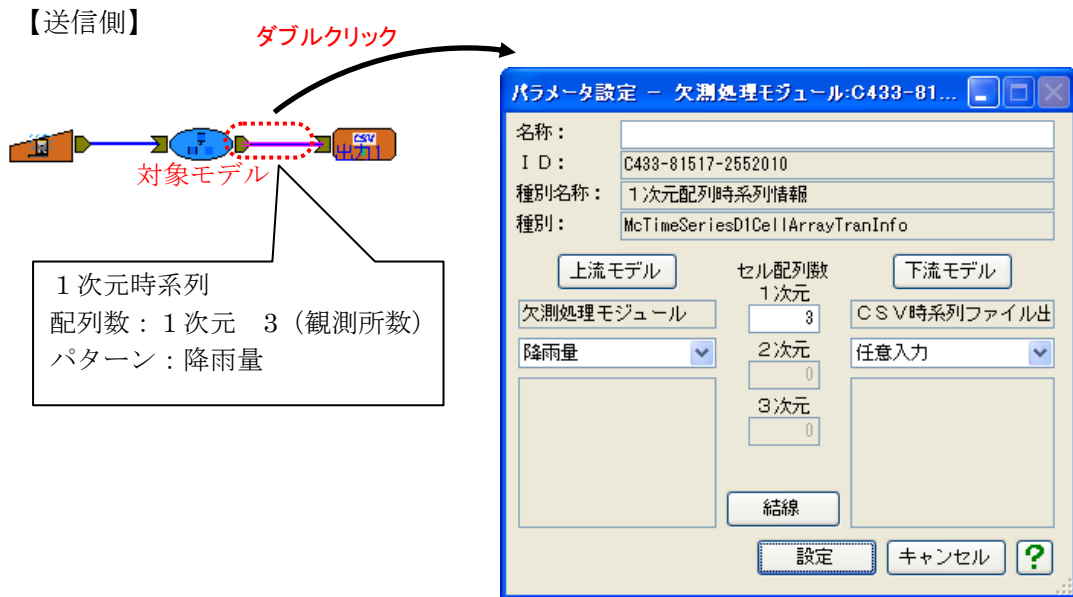
図.1 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または
右クリックメニューから表示を行う。

図.2 要素接続（受信側）



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または
右クリックメニューから表示を行う。

図.3 要素接続（送信側）

2) パラメータ設定画面

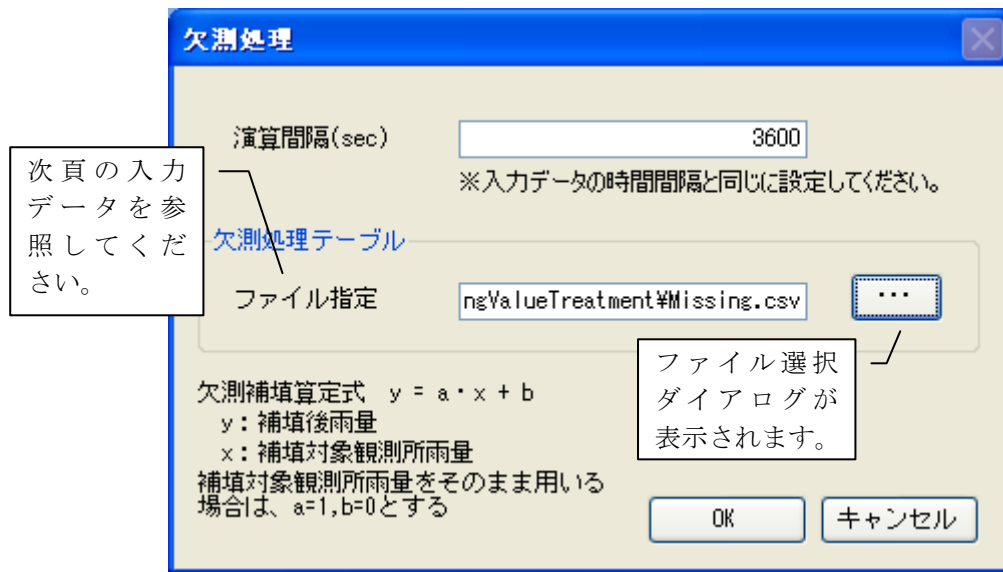


図.4 個別 GUI レイアウト図 (欠測処理モジュール)

3) 入力データ

1次元時系列の雨量データ、及び以下のフォーマットの欠測処理テーブルデータを入力する。

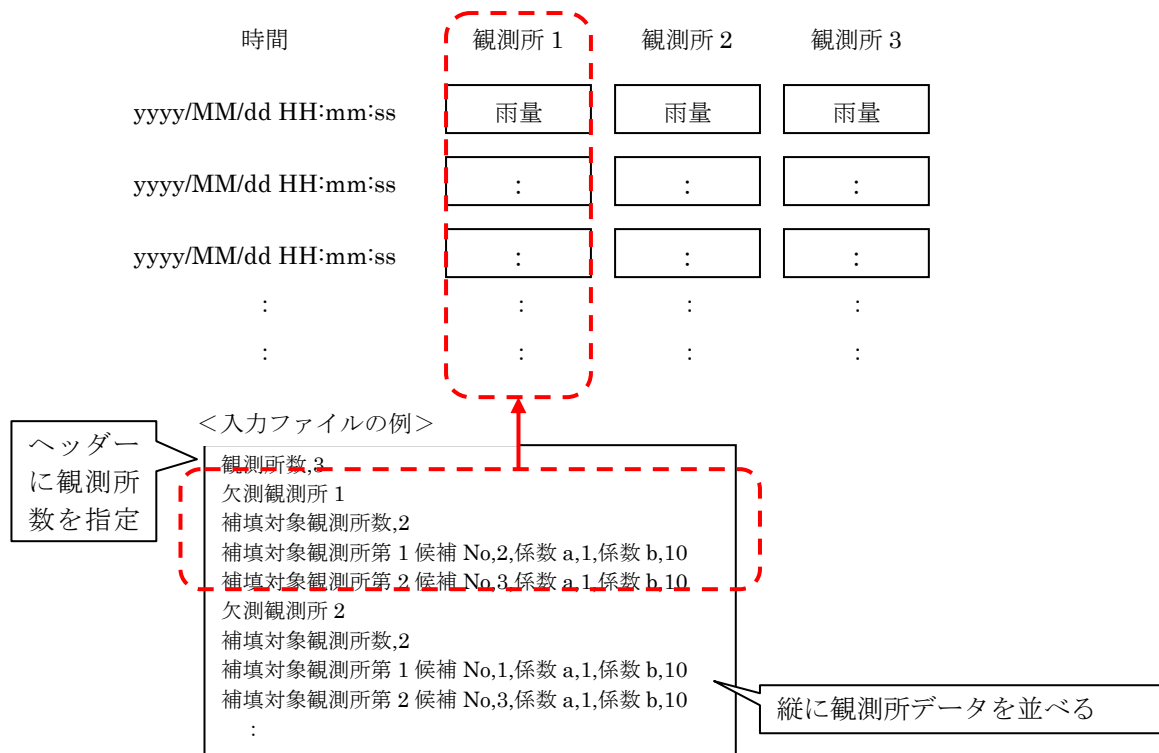


図.5 入力データフォーマット

4) 出力データ

1次元時系列の雨量データが出力される。

時間	観測所 1	観測所 2	観測所 3
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	雨量	雨量	雨量
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	:	:	:
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	:	:	:
:	:	:	:
:	:	:	:

図.6 伝送データイメージ